

熊大発ベンチャーの健康支援に 注目集まる

くまもと健康支援研究所



保健指導介護予防プログラムの 企画・運営

熊本大学医学部発のベンチャー企業として「科学的根拠に基づく健康支援」をテーマに創業した(株)くまもと健康支援研究所は「すべての人々に健康を」を企業理念に、自治体や医療機関、民間事業者と協働で事業を展開。主な事業は、地方自治体(国民健康保険・介護保険)や企業(健康保険組合)などが実施する保健指導・介護予防プログラムの企画・実施評価事業の受託など。2017年度は介護予防サービス・4県36市町村、保健指導サービス・2県12市町村(医療保険者)、5企業から企画・実施・評価を受託している。

医商連携のまちづくり

09年から取り組む地域総合健康サービス事業「うえきモデル」は自治体・医療機関との連携モデルとして注目されている。熊本市植木健康福祉センターかがやき館を利用して運動すると「スイカード」にポイントが貯まり、地元商店の商品券と交換できる。「住民が施設で運動し、その情報を医療機関などが共有することで疾病予防・管理に役立ち、経済効果も期待できる」と松尾社長。健康維持と経済活性化への貢献が評価され、経産省「産業構造ビジョン2010」に先進モデルとして掲載。12年に厚労省「第1回健康寿命をのぼそう!アワード」企業部門優良賞、14年に九州ヘルスケア産業協議会「第1回ヘルスケア産業づくり貢献大賞」、17年経産省「はばたく中小企業・小規模事業者300社」担い手確保部門を受賞している。

被災地支援

熊本地震では発災3日後から被災地支援を開始。人的リソースを活用し、生活不活発病を予防する取り組みを継続的に実践した。現在、御船町地域支え合いセンター業務を受託し、スタッフ全員が看護師という特性を活かしてコミュニティナースが生活再建・創造的復興に向けた支援を展開中。宇土市、南阿蘇村、益城町では被災地活動支援センター「くまカフェ」を展開している。

業務提携などで事業拡大

今後は地域包括ケアシステムを補完する公的保険外サービスの創出に向け、①調剤薬局とのコラボレーションによる「まちの生涯現役ステーション」事業、②地域の社会福祉法人と連携した生涯現役支援システムの構築、③自治体と連携したヘルスケアラボ運営、ヘルスケアアクセラレーションプログラムの展開を計画。今年2月には(株)公文教育研究会と業務提携を行い、頭(公文)と体(くま健)の健康づくり(認知症予防)を図る活動を始める。3月には(株)ミズ(佐賀県)と業務提携し、佐賀県・長崎県・福岡県において介護予防サービス・生涯現役支援サービスの展開を図る。



松尾 洋 社長

DATA

所在地	〒861-8044 熊本市東区神園2丁目1番1号
TEL	096-349-7712
FAX	096-349-7713
設立	2006年12月
資本金	1500万円
事業内容	介護予防事業、保健指導事業、コンサルティング事業、施設管理運営事業
売上高	4億3千万(平成29年3月期)
従業員	約180人(非常勤含む)
在籍有資格者	保健師、管理栄養士、健康運動指導士、理学療法士、作業療法士等
E-mail	kumamoto-kenkou@kwsj.co.jp
Facebook	www.facebook.com/kwsj.kumaken